

組織部速報

2015年 9月29日

No. 14

「自衛」隊から「米衛」隊へ！！ 安民法制成立で高まるリスク

安倍政権は米国の戦争に参加するとして安民法案を強行採決しました。これによって、自衛隊は「自衛」の枠組みを飛び越え、米国の都合により武器を持って戦場に駆り出されることとなります。自衛

隊員のリスクも高まり、戦争に巻き込まれて日本人が犠牲になる日も近づきました。

怒りは収まらない。「ヒトラーの手口」(麻生太郎副総理)をまねした、安倍自公内閣の罪は大きい。日本人の精神的支柱というべき、平和憲法九条を踏みじり、九条の憲法尊重擁護義務を畏れず、まるで脅されたように、米国の戦争に参加する法案を強行採決した。この誤りを正し、法治国家に直す運動が、いまからはじまる。

内閣法制局ばかりかNHKなどの放送局を支配しようとする横暴は、国民を侮辱するにもほどがある。これから違憲裁判などの反撃がはじまる。わたしが心配しているのは自衛官の生命である。むかし会った鹿児島



鎌田 慧 (かまた とも)

夢の喪失

大型免許をとって転職する、身体を鍛える。精神を鍛える。あるいは、災害救助で役に立ちたい。もちろん、国を守るという人もいるが、米国のためではない。労使契約において、労働条件の著しい変更は認められない。自衛のために就職したのに、米衛とはサギでしょう。(ルポライター)

の出稼ぎは自衛隊出身だった。「自衛隊って、どんなもんですか」と質問すると、たちどころに「番犬ですよ。番犬がいれば泥棒は入ってこないでしょう」。そのように教育されていたようだった。これからは「仲間がやられたら、とびかかれ」とリードを放される。もしそれで死んだら犬死にだ。それから、元自衛官に会った。ほとんどが自衛隊に夢をもって入隊している。

2015年9月25日
東京新聞 ⇒

JR貨物も他人ごとでない！！

集団的自衛権行使容認の閣議決定や、安民法案成立は、海外からは「平和の国・日本」からの転換と捉えられ、日本人がテロの標的になる危険が高まることとなります。JR貨物も海外に技術や車両を提供するプロジェクトに参画しており、社員が海外に赴任するケースもあります。「日本人だから」狙われるリスクを安倍政権は生み出してしまったといえます。

JR貨物労組は安民法案廃案に向けて闘います！